

面接入門

面接受検者の基礎知識

素朴なギモンなんですが……

面接で差がつくんですか？

結局、どの受検者も同じような評価がつけられるという気がします……

A 普通にやっても差はつきません。
しかし、このテキストで
差をつける方法を教えます。

差のつくポイントは「笑顔」「姿勢」「態度」ですか？

——いいえ、ちがいます

キーワードは**具体性**です。



高校入試 面接の目的としくみ

面接の基本の基本を知る



面接を行うのは何を見るため？ そもそも目的は2つ

①やる気のない人物を入れない ②やる気のある人物を評価する

面接の目的は以上の2つです。みんなの側から見れば「真剣さとやる気」をアピールする場であるといえます。したがって、面接対策は以下の2つに分かれます。

- ① やる気がないように見えないための「守り（減点されない）」の対策
- ② やる気満点に見せる「攻め（加点を狙う）」の対策

今回の基本編を終えたら、まず②を「攻撃編」で、①を「守備編」でマスターします。

どうやって評価する？ 評価の観点（ポイント）があります★次ページに！

面接の形式 —— 大きく分けて2つおり

■個人面接 —— 生徒1人 対 先生1人（または複数）

緊張しますが、その反面、自分のペースできっちり答えることができるので、しっかり準備できていればむしろ楽しんで受けられます。

■集団面接 —— 生徒数人 対 先生数人

「基本型」 複数の生徒がある質問に順番に解答するもの。前の生徒の答えにあまり影響されないように、あくまでも自分のペースを守ること。

「集団討論型」 与えられたテーマについて議論したり、意見を発表するもの。特別な意見は基本的に不要です。本書にある「抽象+具体」できちんと意見を述べれば心配無用です。

面接：評価の具体例①

面接を評価するためのしくみ

実例をもとに

面接の評価の具体的方法を、実際に行われた例をもとに説明します。これから示す実例では、面接の結果が点数化され、合否判定に使われました。

一般に、高校の入学者選抜には、学力検査と調査書（いわゆる内申）と面接などを用います。それぞれを一定の比率で合計し、その結果で合格者が決まります。

このとき、どのように面接を評価するのかがわかれれば、大切なポイントがわかります。

面接の評価方法 意欲を見る・極力客観的に評価する

ここで示す実例では、面接は「意欲を評価するために行う」と説明されています。では、どうやって意欲を評価し、客観的に評価するのでしょうか？ ポイントは次の2つです。



① 態度（表情やしぐさ・話し方） ② 話す内容

この2つでどうやって評価するのか、説明しましょう。

「意欲」が見えやすい人もそうでない人もいます。ですから、①の「表情やしぐさ・話し方」は、こうすれば特別にいい印象を与えられるという方法よりも、悪い印象を与えないことが大切です。もし、みなさんが本当にその高校に入りたいという「意欲」をもっているならば当然、その高校の先生方に好印象を与えるような態度をとるはず、ということなのです。それに、態度はどうしても評価する人の好み、主觀によって行われますから、特別なことがなければ、大きく減点も加点もできないと考えることができます。

そこで、減点されないためのマナーは、本書の「守備編」でしっかりとまとめ、身につけてください。

次に②の話す内容です。詳しくは本書の「攻撃編」で記します。ここでは「具体性」が勝負のポイントである、とだけおぼえておいてください。

① 態度（表情やしぐさ・話し方） ⇒ 守備編 (P33~)

② 話す内容 ⇒ 攻撃編 (P.9~)

判定の実例 面接は「観点ごとに段階的に評価」するしくみ

面接が、実際にどのような方法で評価されたのか、まず、次の2つのことばを確認してください。

① 観点 どのような点で判断するかという項目（=判定するための項目）

② 評価 優劣の段階（=得点）

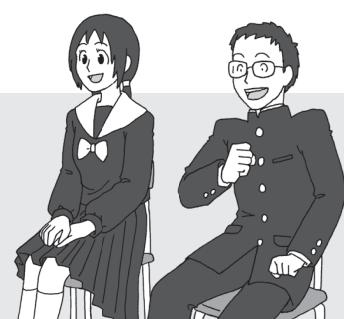
学力検査でいえば、観点は科目、評価は得点といえます。

面接の主な観点（判定するためのポイント）

- ・入学希望の理由
- ・中学校での教科等に対する学習意欲
- ・中学校での教科等以外の活動への意欲
- ・高校での教科等に対する学習意欲
- ・高校での教科等以外の活動への意欲
- ・面接の態度
- など

面接の評価方法 ○+, ○, ○+, ○, △ の5段階 (3段階以上とされています。この例では5段階)

高校は、あらかじめさだめた観点に基づいて5段階の評価を行い、それを点数化して判定に用います。これは一つの例ですが、多くの場合、これに近い方法で行われます。



長所と特性 自己分析

自分自身のことをどう思っているか

月 日

長所とは何か 「長所」に決まりはない——長所は短所の裏返し

副題のとおり「長所」に特別な決まりはありません。「私に長所があるのかといわれても……」という人こそ、続きを読むでください。

タイトルの「特性」に注目。いい悪いではなく、はっきりとした性格のことですね。

たとえば、小学校から死ぬまでずっとトランペット一筋で、他のことには目もくれないという人がいたとします。「ぶれることなくうちこんだ」といえば長所にきこえますし、「頑固で、視野が狭い」といえば短所になってしまいます。同じように「落ち着きがない」と「いろいろなことに関心があり、興味の幅が広い」も、ある特性の評価をひっくり返しただけの関係なのです。

短所は見方を逆転させれば長所になる このことをおぼえておいてください。

まず、あなた自身の「特性」を書きましょう。長所も短所もあわせて、感じるままに書いてください。そして、短所は、今やったようにひっくり返して長所にしてしまいましょう。

書けたら、次に具体例です。「辛抱強い」という長所なら、それを裏づける具体的な事実を書いてください。これで、説明できる状態になります。

私の特性① 長所・短所どちらでも書く		特性①の具体的事實 記憶しているできごとを書く
特性：		いつ：
第一印象では【 長所 ・ 短所 】		どんなことが：
短所の場合：長所に変えると次のようになる		



私の特性② 長所・短所どちらでも書く		特性②の具体的事實 記憶しているできごとを書く
特性：		いつ：
第一印象では【 長所 ・ 短所 】		どんなことが：
短所の場合：長所に変えると次のようになる		



私の特性③ 長所・短所どちらでも書く		特性③の具体的事實 記憶しているできごとを書く
特性：		いつ：
第一印象では【 長所 ・ 短所 】		どんなことが：
短所の場合：長所に変えると次のようになる		

ここまでできたら、次は他人の目から見たあなたの特性（＝長所）です。ちょっと照れくさいでしょうが、積極的に身のまわりの人にインタビューを試みてください。



私の特性① 長所・短所どちらでも書く		特性①の具体的事實 記憶しているできごとを書く
特性：ゆっくり構えすぎて行動が遅い		いつ：東日本大震災のとき
第一印象では【 長所 ・ <u>短所</u> 】		どんなことが：停電と余震の中、家でローソクの火でのんびり本を読んだ。楽しそうにしていたら「あんたを見てると気が抜けて落ちつくね」と祖母にいわれた。
短所の場合：長所に変えると次のようになる おだやかで他人を安心させる		

短所⇒長所へのひっくり返し方がわからなかったら、担当の先生に質問しよう。

これまでと同じで、可能な限り具体的なエピソードを書く。「よく○○といわれる」だけでは何も説明していないに等しい。

長所と特性 調査結果

その長所・短所は、他人の目にどう映っているか

月 日

他人からどう見えるか 2つのグループに調査

自分の見ている自分の特性と、外から見るそれが異なることはよく起こります。比較することで、より掘り下げた自分の姿をつかむことができるかもしれません。

調査はかんたんです。2つのグループの誰かに、あなたの長所（または特性）が何だと思うのか質問するのです。なお「2つのグループ」とは次のとおり。

①家族 あなたのプライベートを知っている **②家族以外** あなたのプライベートを知らない

なお、枠は狭いのですが、なるべくたくさん聞いて、メモしてください。余白も他の用紙も使ってください。



家族からの証言

インタビュー結果を書く

私の特性 長所・短所どちらでも書く

特性の具体的事實 話してもらって書く

特性：

第一印象では [長所 ・ 短所]

短所の場合：長所に変えると次のようになる

いつ：

どんなことが：

証言した人：

家族以外からの証言

インタビュー結果を書く

私の特性 長所・短所どちらでも書く

特性の具体的事實 話してもらって書く

特性：

第一印象では [長所 ・ 短所]

短所の場合：長所に変えると次のようになる

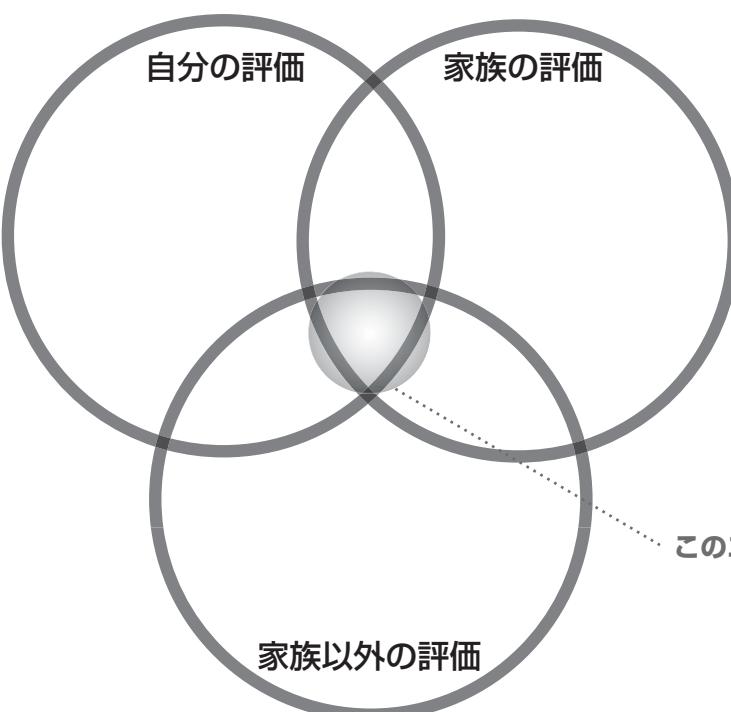
いつ：

どんなことが：

証言した人：

私の「特性図」を作る

「本当の私」はどこにいる？ 結果を P.26 に記入



これで、あなた自身・家族・家族以外という3つの視点からの「あなた」がそろいました。これを図にまとめます。「本当の私」などというものがあるかどうかわかりませんが、3つの視点に重なりがあれば、それがナンバーワン候補かもしれません。

それがあたっているかどうかは別にしても、こうやって自分自身の長所・特性を研究したという説明をすれば、面接官もそれだけで興味をそそられ、耳を傾けてくれるにちがいありません。

あまり真剣になりすぎず、ある種の気の利いた占い、くらいのつもりで試みてください。

